

自然環境に配慮した道路整備

グランドセル
砕石舗装工法

沖縄県の石垣島は東シナ海と太平洋を分かち南西諸島の島々のひとつで、沖縄本島からは400kmほど離れた国土の西端に位置します。その陸地面積の1/3近くが「西表石垣国立公園」の区域に指定され、風光明媚さと独自の文化の魅力で毎年多くの観光客が訪れています。

その島の北東方向に細長く伸びているのが平久保半島で、地元石垣市では同地域の貴重な自然環境を観光や体験学習等に活用するため半島東岸を縦断する「平久保半島エコロード」の整備が進められました。



同道は牛の放牧場などを縦断する延長13.7kmの市道で、以前は台風や大雨で未舗装路面が浸食を受け車両通行が困難になることも度々でした。その不便の解消を図りつつも可能な限り自然破壊を避けるため、ガードレール等はなく道幅を車1台が通れるものに留めているほか、アスファルト舗装は用いず、岡三リビックのグループ会社沖縄リビック提供による「グランドセル」を必要に応じて路盤に敷設する

形で整備が行われています。

グランドセルはハチの巣状の構造を持つジオシンセティック材で、展開した空隙部分に砕石を充填し転圧することで拘束補強効果を発揮して、通過車両の荷重を分散しつつ輻掘れの発生を抑える丈夫な道路を構築することができます。

現在、全区間のうち明石から平野までの約10.0kmの整備が完了し、地元の人も観光客も普通車両で不安

なく通行することが出来るようになりました。

沖縄リビックと岡三リビックは自然との共生に配慮した商品、さらにはSDGsに照らした様々な商品を皆様に提案致します。

工事概要

施主: 石垣市役所
 工事名: 平久保半島エコロード整備工事
 施工会社: (有)砂盛土木、(株)南西工業
 商品名: グランドセル(ジオセル)
 G100MP=4,000m²

OFF TOPIC

「サッカー審判」

業務・品質管理部 玉城浩二

今年はW杯がありサッカー観戦することも多いと思いますが、みなさんは審判に注目したことはありませんか。
 私は子供がサッカーをしていた三年の間審判をやっていて、土日は「ピーツ！」とホイッスルを吹いていました。

サッカーの審判をするには日本サッカー協会の資格が必要で、私は小学生の試合での審判ができる四級を取得しました。ちなみにJリーグの審判は一級。上位カテゴリーでは体力テストなども行われます。
 審判で大変なのが、コーチや観客からのヤジ「ファウルだろ！」や、子供たちの文句「絶対マイボだよ！」等々がとてもよく聞こえる事です。その声を無視し内心は動揺しつつも毅然とした態度でジャッジをしなくてはなりません。

もちろん楽しさもありません。それは誰よりも間近で試合を観られる超特等席だということです。小学生の試合といっても六年生になると体格も大きくなってプレーも激しく、テクニクは大人顔負けで、スタジアムでも大画面テレビでも見られないド迫力映像を体験できるのです。みなさんもぜひスポーツの審判をやってみてください。新しい視点を持つこともできてきっと面白いと思いますよ。

岡三リビック 商品群

道路・盛土 多数アンカー式補強土壁工法 トリグリッドEX パラリンク フラットパネル RRR工法 EDO-EPS工法
 ダイブラハウエル管 法面・防災 多機能フィルター ミニアンカーDO PDR工法 サビレス100
 維持・管理 ARISライナー工法 SWライナー工法 RCGインナーシールα工法 Tn-p工法 ローマットHDB
 鉄鋼建材 ライナープレート コルゲートパイプ 景観・環境 ロッキーステージ 斜面いりどり工法 フォトリックアート

トリ
グリッド

両面壁で処分場の容積拡大 小豆島

小豆島は瀬戸内海では淡路島に次ぐ大きさであり、本州や四国と橋梁・トンネル等で繋がっていない島としては瀬戸内海で最も多い約2万5千の人口を抱えています。

名産品のオリーブ園、渓谷美で知られる寒霞渓や海水浴のビーチなど観光資源にも富んでおり、毎年多くの観光客が島を満喫しています。

そうした離島という環境下においてゴミの問題は極めて重要で、島内の2町、土庄町と小豆島町ではその減量やリサイクルに常に取り組んできてはいるものの、最終処分となるゴミについて既存処分場の容量が限界に近い状態となっていることから何らかの対策が求められていました。

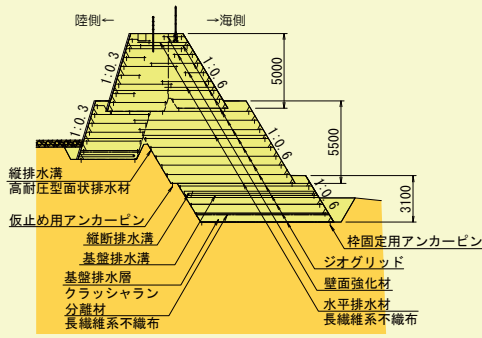
そこで小豆島町においては、海岸べりに現存する「内海徳本埋立処分地」をより立体的に土地活用する方向で改修を実施、その工事において



当社のトリグリッドが採用となりました。

同処分場は海に面した斜面上にあります。この海側半分に補強土壁を設置して容量を大きくかさ上げするのがその計画の主眼。堤体はトリ

グリッドを用いた両面壁となっており、海に向いている外側は塩害対策仕様であるポリエチレン被覆タイプの鋼製壁面材（トリパネル）を使用しています。また処分場内各所の盛土補強にもトリグリッドが用いられているなど、改修計画の実施に大きく寄与しています。



工事概要

施主：小豆島町企画振興部環境衛生課
 工事名：小豆島町一般廃棄物最終処分場
 貯留堰堤締切等工事ほか
 施工会社：(株)竹本組・安井建設(株)
 ・香川舗道(株)
 商品名：トリグリッド 21,962m²
 トリパネル 1,686m²

切り替えてしばらくは、渋滞や接触事故が多発した。特に事故が多かったのがやはり交差点。左折や右折の際にいつい道路右側に入ってしまう他車両と正面衝突してしまうパターンだ。またバスは路上訓練が実質不可能な状態で当日を迎えたため、左ハンドルの車の車両感覚が抜けない運転手が路肩の電柱や駐車車両にぶつける事故が度々発生した。

ただ、皆が注意深く運転していたためか、切り替えからの一か月での死亡事故は幸いにも皆無であったらしい。

沖繩が日本に復帰してまだ数年のこの日、道路交通がアメリカ式の右側通行から日本式の左側通行に替わった。全ての信号や標識が事前に逆向きに準備され、必要な箇所では交差点の構造を変更し、夜の間に一斉に切り替えられた。また、ガードレールの板を従来と逆向きに重ね直すような工事も前後して行われた。

自家用車の多くは左ハンドルのままだったが、バスは乗降口が左側にならないといけないので国の補助金も活用して右ハンドル車が大量導入された。七三〇バスはその時からの生き残りという訳だ。

沖繩本島には「七三〇バス」と呼ばれる古い型のバスが二台ほど走っている。また石垣島には七三〇の記念碑があり交差点の名前にもなっている。七三〇とは沖繩県の一大イベントが実行された一九七八年七月三〇日を指す。

沖繩の七三〇

徒然月記

記：編集T



岡三リビング株式会社

東京都港区港南1-8-27 日新ビル ☎03-5782-9080



札幌・盛岡・仙台・高崎・東京・新潟・金沢・長野
 静岡・名古屋・大阪・米子・広島・高松・松山・福岡
 鹿児島・沖繩リビング・岡三リビングベトナム